

# 事業計画書

平成31年4月 1日から

平成32年3月31日まで

公益社団法人 北海道栽培漁業振興公社

# 平成31年度事業実施計画

## 1 栽培漁業指導事業

### (1) 講座・セミナー・育成等事業（研修指導事業費）

栽培漁業の技術的課題に関する研修を目的とした事業のうち、「育てる漁業研究会」は、参加者からも好評を博しているが「漁業生産技術研修会」については、開催要望がなかったことから、平成31年度より「育てる漁業研究会」に一本化することで、一層の内容の充実を図ることとする。（平成32年1月に開催予定）

### (2) 調査研究・情報提供等事業

#### ① 広報誌「育てる漁業」の発行（広報事業費）

栽培漁業に関する先進的な取り組み、試験研究、地域の活動や人物の紹介等を掲載した広報誌「育てる漁業」を年4回発行し、配布する。

#### ② 北海道沿岸漁場海況速報事業（広報事業費）

栽培漁業推進上の基礎資料とするため道内の沿岸漁場45か所において毎日観測している本事業は、水温を旬ごとにまとめ、過去10年間の平均水温と対比して速報するほか、年間の水温、気象を取りまとめ、ホームページで公開する。また、関係機関と連携し、データ収集、発信の一層の効率化を図り、データの共有化を推進する。

#### ③ 種苗生産事業実績報告（広報事業費）

栽培公社が行っているヒラメ、マツカワ、ニシン、クロソイ、アワビ、マナマコ等の種苗生産について、平成30年度事業実績報告書にまとめる。

#### ④ 調査研究事業

##### i) 種苗生産技術等開発試験調査（技術開発試験調査事業費）

伊達事業所において取り組んでいるマボヤ採苗試験は、種苗供給の要望が価格低迷などにより大きく後退したことから、平成31年度は、要望を取りつつも漁業者の意見を聞きながら、平成32年度の生産は終了し、技術移転・指導に転換する。

熊石事業所における二枚貝の小規模種苗生産試験は、前年度に引き続きシジミの種苗生産技術開発に取り組み、飼育技術の基礎データを収集する。

また、伊達事業所において、マツカワ親魚の海水温上昇に対応した親魚飼育手法の改良試験に継続して取り組む。

##### ii) 共同研究などの取り組み（調査研究費）

栽培漁業の推進に資するための広範なテーマから、地域の活動団体、大学、研究機関と共同で、エゾアワビ増殖場の研究等の調査研究に取り組む。

(3) 栽培漁業指導事業予算

(単位：千円)

区 分	予 算 額	前年度予算額	増 減
研 修 指 導 事 業	647	867	△220
広 報 事 業	3,610	3,610	0
技 術 開 発 試 験 調 査 事 業	487	1,431	△944
栽 培 漁 業 基 金 事 業 指 導 費	4,415	3,934	481
調 査 研 究 費	7,000	7,000	0
合 計	16,159	16,842	△683

2 栽培漁業推進事業

2-1 ヒラメ種苗生産事業

(1) 事業の概要

生産、放流事業の見直し計画に従い、羽幌、瀬棚両事業所において種苗生産、中間育成を行った種苗を、日本海北部及び南部海域に1,760千尾放流するとともに、更なる効率化と効果的放流に努め、事業の円滑な推進を図る。

(2) 種苗生産、放流計画

羽幌事業所 全長30mm種苗生産 → 中間育成 → 全長50mm種苗放流  
1,176千尾 880千尾

瀬棚事業所 全長30mm種苗生産 → 中間育成 → 全長50mm種苗放流  
1,176千尾 880千尾

(3) 地区協議会別放流数

(単位：千尾)

区 分	地区協議会	放流尾数	協議会内放流数
羽幌事業所	宗谷管内栽培漁業推進協議会	232	各協議会で決定 する
	留萌管内栽培漁業推進協議会	320	
	石狩湾ひらめ栽培漁業振興協議会	328	
	小 計	880	
瀬棚事業所	後志南部地区ヒラメ中間育成センター運営委員会	296	各協議会で決定 する
	檜山管内水産振興対策協議会	280	
	津軽海峡地域水産人工種苗育成供給連絡協議会	304	
	小 計	880	
合 計		1,760	

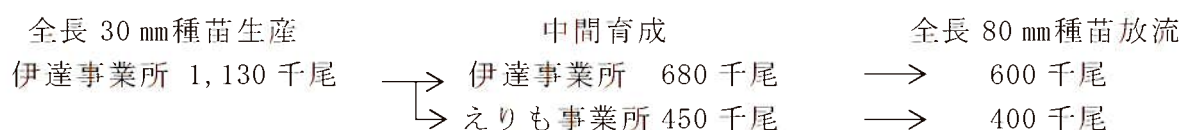
## 2-2 マツカワ種苗生産事業

### (1) 事業の概要

伊達事業所において、全長 30 mm 種苗を 1,330 千尾生産し、伊達及びえりも事業所において中間育成を行い、両事業所合わせて全長 80 mm 種苗 1,000 千尾をえりも以西海域に放流する。また、えりも以東海域に全長 50 mm 種苗 100 千尾、全長 80 mm 種苗 80 千尾の供給を行う。

えりも事業所の中間育成事業については、平成 31 年度からえりも町栽培漁業振興協議会に委託し実施する。

### (2) 種苗生産、放流計画(えりも以西海域)

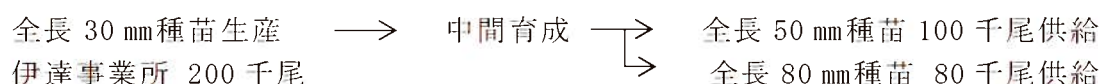


### (3) 地区協議会別放流数(えりも以西海域)

(単位：千尾)

区 分	地区協議会	放流尾数	協議会内放流数
伊達事業所	渡島東部海域栽培漁業協議会	50	各協議会で決定する
	噴火湾渡島海域漁業振興対策協議会	175	
	噴火湾胆振海区漁業振興推進協議会	125	
	胆振太平洋海域漁業振興協議会	250	
えりも事業所	日高管内栽培漁業振興協議会	400	
合 計		1,000	

### (4) 種苗生産、供給計画(えりも以東海域)



### (5) 地区協議会別供給数(えりも以東海域)

(単位：千尾)

区 分	供 給 先	供 給 尾 数		備 考
		50mm	80mm	
伊達事業所	根室管内栽培漁業推進協議会	50		中間育成種苗
	十勝管内栽培漁業推進協議会	50		
	釧路管内栽培漁業推進協議会		80	直接放流
合 計		100	80	

### 3 エゾアワビ種苗生産事業

熊石事業所において、平成30年産と平成31年度産の種苗の育成を行い、殻長15～35mm稚貝1,127千個体を生産し、要望先に供給する。

供給サイズ別内訳

(単位：千個)

区 分	15mm	20mm	25mm	30mm	35mm	計
平成30年産			80	557	156	793
平成31年産	200	122	12			334
合 計	200	122	92	557	156	1,127

### 4 ニシン種苗生産事業

#### (1) 日本海北部ニシン種苗生産事業

「日本海北部ニシン栽培漁業推進委員会」の要望により、羽幌事業所において、全長60mm種苗2,000千尾を生産し、宗谷、留萌、石狩、後志北部海域に供給する。

#### (2) 後志南部ニシン種苗生産事業

「後志南部地域ニシン資源対策協議会」の要望により、羽幌事業所において、全長60mm種苗400千尾を生産し、後志南部(積丹以南～島牧以北)海域に供給する。

#### (3) 檜山ニシン種苗生産事業

「檜山管内水産振興対策協議会」の要望により、瀬棚事業所において、全長60mm種苗1,000千尾を生産し、檜山海域に供給する。

事業所別供給数

(単位：千尾)

区 分	供 給 先	供給尾数
羽幌事業所	日本海北部ニシン栽培漁業推進委員会	2,000
	後志南部地域ニシン資源対策協議会	400
瀬棚事業所	檜山管内水産振興対策協議会	1,000

### 5 クロソイ種苗生産事業

会員等からの要望により、瀬棚事業所において全長30mm種苗216千尾を生産し、要望先に供給する。

供給先別内訳

(単位：千尾)

供 給 先	供給尾数
津軽海峡地域水産人工種苗育成供給連絡協議会	70
噴火湾渡島海域漁業振興対策協議会	126
大津漁業協同組合	20
合 計	216

#### 6 マナマコ種苗生産事業

会員等からの要望により、熊石事業所、瀬棚事業所及び羽幌事業所において、平均全長 20 mm の種苗 1,641 千個を生産し、要望先に供給する。

事業所別供給数 (単位：千個)

区 分	供給箇所数	供給個数
熊石事業所	21	946
瀬棚事業所	4	335
羽幌事業所	6	360
	31	1,641

#### 7 ハタハタ種苗生産事業

日高管内栽培漁業推進協議会からの委託事業については、平成 30 年度をもって終了した。

#### 8 栽培漁業振興事業（種苗生産等支援助成事業）

地域の協議会等が実施する種苗生産、中間育成、放流等の事業に対して、振興基金運用益から助成する。

## 事業実施計画

(単位：千円)

事業主体	対象魚種	事業費	助成金額
小樽市漁業協同組合	マナマコ	491	227
島牧漁業協同組合	マゾイ	3,695	1,724
津軽海峡地域水産人工種苗育成供給連絡協議会	クロソイ	6,180	2,703
砂原漁業協同組合青年部	マナマコ	1,318	610
噴火湾渡島海域漁業振興対策協議会	クロソイ	8,489	3,930
ひだか漁業協同組合	ハタハタ・クロソイ	5,022	2,325
日高中央漁業協同組合	マナマコ	1,699	802
えりも町栽培漁業振興協議会	マガレイ	1,231	570
	ハタハタ	6,504	3,011
えりも漁業協同組合	マナマコ	175	81
十勝管内栽培漁業推進協議会	マツカワ	7,495	4,188
大津漁業協同組合	クロソイ	2,397	1,109
根室市	ハナサキガニ・ホッケイビ	2,142	991
根室管内栽培漁業推進協議会	マツカワ	4,625	2,342
根室管内ニシン種苗生産運営委員会	ニシン	19,520	9,184
野付漁業協同組合	マナマコ	715	330
	クロガレイ	683	316
羅臼漁業協同組合	マガレイ	1,279	590
	マナマコ	1,260	580
斜里第1漁業協同組合	マナマコ	423	196
網走漁業協同組合	ホッキガイ	2,196	1,016
網走漁業協同組合(磯部会)	マナマコ	102	47
西網走漁業協同組合	マナマコ	102	47
常呂漁業協同組合	マナマコ	1,135	525
沙留漁業協同組合	マナマコ	382	420
宗谷漁業協同組合	マナマコ	3,084	1,428
北るもい漁業協同組合	マナマコ	365	169
	ハタハタ	551	255
留萌市	マナマコ	1,200	555
余市郡漁業協同組合	マナマコ	799	370
東しゃこたん漁業協同組合	マナマコ	891	412
島牧漁業協同組合	マナマコ	551	255
ひやま漁業協同組合乙部マナマコ振興協議会	マナマコ	540	250
室蘭漁業協同組合	マナマコ	734	340
根室漁業協同組合	マナマコ	252	121
紋別漁業協同組合	マナマコ	3,970	1,885
増毛漁業協同組合	マナマコ	6,359	1,010
合計 31 団体	11 魚種	99,054	44,914

9 水産多面的機能発揮対策事業

藻場や干潟の保全を中心とした環境・生態系の維持回復や漁村の活性化、海の安全確保に関する漁業者等が行う活動を支援するため、地域協議会が事業主体として実施する事業に必要な経費を助成する。

助成件数	136件
助成額	527,978千円
協議会運営費	17,000千円



## 10 調査事業

### 調査事業の実施方針

次の基本的な考え方を、調査事業の実施方針とする。

1. 公社は、全道の漁業協同組合と沿岸市町村を会員とする公益社団法人であることから、その基本的なスタンスは、漁業者の視点に立って考える。
2. 受託事業については、精度の高い調査と公正な判断による高品質な報告書を作成するとともに、漁業環境の保全と漁業影響を防止するための考え方を提言する。
3. 公社は、事業実施者と漁業者との間にあつて、問題の解決に向けての調整と提言を行う。

### 平成31年度調査事業受託見込み

平成31年度の調査事業は、次の3点から積算した結果、受託見込みを、件数38件、金額620,000,000円とする。

1. 平成29年度から30年度までにおける受託実績の推移と傾向。
2. 継続事業の受託実績。
3. 新規受託事業の推移と傾向。

受託先	件数	受託金額(円)
国(開発建設部等)	11	417,000,000
道(建設管理部等)	14	172,220,000
公社会員	11	13,386,000
その他(一般企業)	2	17,394,000
合計	38	620,000,000

平成31年度 調査事業受託見込み